

福岡女子大学
同窓会

第93号



筑紫海会会報

事務局 福岡女子大学内 TEL・FAX (092) 692-3194
HP - <http://www.fwu.ac.jp/tukusimikai/> または「筑紫海会」で検索



安永良徳 作「母子像」(模写)
図書館棟2F

福岡女子大学

百周年へ

筑紫海会会長

矢野 芙美子 (大10回)

7月の九州豪雨で被災されました皆様、心よりお見舞い申し上げます。

この度3期目の会長を引き受けすることになりました。改めて会員皆様にご協力をお願い申し上げます。

かつて福岡女子大学の改革にご尽力をくださいました麻生前知事は、開学記念日のご講演で

「福岡女子大学は福岡の宝である。女性リーダーは女子大でこそ育つ」と話されました。百周年をやがて迎えるようになっているいま、そ

梶山千里理事長兼学長 叙勲おめでとうございます

いづれい

平成29年春の叙勲で、瑞宝大綬章を授与されました。これは「九州大学長等として多年にわたり教育に尽力するとともに、高分子化学の研究に優れた業績を挙げ、学術の発展に貢献した」ことを評価されたものです。

平成29年5月9日、皇居において天皇陛下から勲章を親授されました。



90周年記念事業として、新能・総会へ女専の方を招待、岡坂明日花さんへの筑紫海会賞の授与、「つくし

5 平成29年度予算案審議

(6面に会計報告掲載)

平成28年度総会報告

平成29年5月28日(日)

西鉄グランドホテルにて開催。11時の開始当初、26名の会員の出席があり、総会成立。

開会のことば、物故者76名への黙祷に続き、矢野会長は挨拶の中で、新しく開設した同窓会室「つくしみ会室」の活用を促した。

議事

1 平成28年度筑紫海会事業報告

み会室」の設置等を報告。

2 平成28年度筑紫海会会計決算報告

監査報告の後、議事1、2を拍手で承認。

3 平成29年度役員改選

会長選考委員長迫田理事より矢野会長を再選した事、理事選考委員長の住吉北九州支部長より5名の新理事を選考したことを報告。

3を拍手で承認のち、矢野新会長より、退任理事、新任理事、新副会長紹介。

4 平成29年度事業計画案

新能、かすみ祭参加、お茶の会、留学生のお正月体験等。



在校生・OBのマンドリン演奏



女専の方へ花束贈呈

5月29日の新能の費用についての質問に、特別講演会の予算を見込んでいるとの説明あり。

4、5を拍手で承認

懇親会

総会終了後、休憩をはさみ、12時20分より懇親会開始。開会の挨拶の後、来賓の梶山千里学長より、福岡女子大学が日本の大学ランキングの48位、国際化の面では7位に入ったとの報告、又、学生の感性を磨くために今後も新能を行う旨の報告あり。

女専の方への花束贈呈、在校生・同窓生によるマンドリン演奏、校歌斉唱、次年度当番学年の紹介と続き、和やかな雰囲気の中、閉会。

同窓会催し物のご案内を
タイムリーに
お届けします。

① 事務局宛に
Mail Addressを
お知らせ下さい。

② Facebook
「つくしみ会の部屋」
を開設しました。
「いいね」ボタンを
お願いします。

「総会当番を終えて」

当番委員長 田上 優子 (大31英)



の両輪をフル稼働させつつも会合そのものを楽しまながら準備してまいりました。

懇親会のイベントでは、マンドリンクラブOGと在学生(総勢13名)による心地よい演奏を堪能しました。クラブの絆や準備委員の活動にみられる、強い責任感とまじめでひたむきな同級生・後輩の姿は、紛れもなく先輩諸姉から受け継がれてきた「なでしこ気質」であり、90余年の大学の歴史を支えてきたものだと感じました。今後も明朗闊達な新学部卒業生を加えた新しい筑紫海会の伝統がさらに彩られていくことを願っております。

女専・大学卒業生240名が一堂に会し、5月28日(日)に西鉄グランドホテルにおいて、平成29年度の筑紫海会総会を開催いたしました。栄えある瑞宝大綬章を授与され、ご多忙の中ご臨席賜りました梶山千里学長には厚くお礼申し上げます。準備委員のほとんどは仕事と家庭(育児、介護等)

平成30年度 筑紫海会総会予告

日時：平成30年5月27日(日)
11:00~15:00

場所：西鉄グランドホテル

当番：大学33,34,53,54,64回生

詳細は5月発行の94号をご覧ください。

多くの会員の皆様のご参加を
お待ちしております。

波紋

▼郷土の伝統工芸に「佐賀錦」という織物があります。佐賀大学美術館で佐賀錦織の几帳を拝観し、精緻で気品ある美に魅せられました。鹿島市の祐徳稲荷神社に奉納されている几帳で、一般公開は稀です。勿論多数の作品もまさに美術品です。地域の伝統工芸佐賀錦を若い人に伝承すべく大学の講座になったことを記念しての展示です。▼佐賀錦は江戸後期、鹿島藩主夫人が病床で網代天井を眺めながら創造された織物です。経糸は和紙に金銀箔を貼ったもの、或いは漆を塗ったもの、緯糸は綴糸(つづりいと)と呼ばれる、糸綜(いとあはれ)や箆(へら)の絹糸です。糸綜や箆は要らない綾織です。大隈重信侯の支援を受け明治43年ロンドン日英博覧会に出品し、日本手芸の極致と称賛され、海外に知られます。その後東京で隆盛になり、人間国宝の古賀フミ氏(佐賀出身2016年没)を輩出しています。▼地域の伝統文化がユネスコ無形文化遺産として登録されています。世紀を超えて伝承されるには次世代の後継者へきちんと手渡すことです。佐賀錦は、唐津くんちや有田陶器ほど地方を代表するものではありません。しかし、先人たちが創った織りの技術で生み出される美は、佐賀の誇りある伝統文化・文化遺産です。学生たちが郷土の文化に誇りをもって受け継いでくれることを願います。

本告 禮子 (大19回)

佐賀支部

開学記念式典・ホームカミングデー

4月23日 日曜日 大学会館



4月23日(日)、第6回ホームカミングデーが、卒業生122名を迎え、大学会館にて開催されました。

第3回筑紫海会賞 受賞のよこいび

岡坂 明日花 (国際教養学科4年)



わたしは次代の女性リーダー育成という方針に惹かれ、大学生活の中で必ずなにかを成し遂げたいという思いと共に福岡女子大学に入学しました。周囲には目標に向かって邁進する人が多く、負けず嫌いの私は、他の人に負けないように頑張ろうとこれまで様々な活

動を行ってきました。受賞が決まった時、正直、私の周りにはもっと活躍している友人がいるのに私がこの賞を頂いていいのだろうかと思いました。しかし私は、ジェンダーの授業で、日本の女性は昇進や賞賛されることに非積極的な人が多い傾向にあり、それが管理職における女性の割合が低いことにも繋がっている、と学んだことを思い出しました。真の女性の社会進出の為には、私もここで堂々と喜び、賞を頂くこ

とが最適であると感じました。学んだことを自身で実行していくことは想像以上に難しいものだと思います。実行しようとするとき、新しいことであればあるほど立ち向かう壁も多く、思い通りにいかないという経験も多くあります。しかし、このように賞を頂けたことが自信となり、これからますますは行動してみようという心がけようと思っています。自分の力を精一杯発揮できる福岡女子大学で勉強できることの喜びを胸に、支えてくれている家族、友人そして先生方に感謝し、今後とも精進していきたいと思っています。

第2回 新能



5月29日(月)、昨年に続いて「新能」が大学会館で催されました。プログラムは下記のとおりです。公演も半ばで火入れ式。学生たちと共に、大学側は今井副学長、筑紫海会は江島副会長が点火、新能の雰囲気盛り上がりです。今年から1年生全員となでし寮の学生対象に感性教育の一環として実施されることになりました。1年生の感想。「初めての鑑賞

記念講演 情報を読む 世界を読む

歌人・フリーランスライター 松村 由利子氏

(講演の要旨)

情報社会とは…。IT(情報技術)の発達によるネットワーク社会を言う。情報社会の特徴は、①時間・空間的な制限なく情報にアクセスできる。②豊富な情報(高速・大容量)がある。③個人による情報発信が可能である。そこで必要になるのがメディアリテラシーである。すなわち、①情報を読み解く能力、②情報にアクセスし、活用する能力、③情報を発信する能力、④メディアを通じて人とコミュニケーションする能力などである。

さて、情報社会の到来で私たちの世界は、情報量の急速な増大と多様化を招いた。その情報量は、人間が処理できない多量さであり、思考停止を招く多量さであった。そこで、人間は関心のあるものだけをピックアップせざるを得ず、世界への関心は薄くなった。現代の女性を取り巻く状況の変化として、1947年に始まる男女平等を保障し支える法律の成立がある。日本国憲法、女子差別撤廃条約、男女雇用機会均等法、育児休業法(育児・介護休業法

る。ここに明治期の二つの文章、正岡子規の「家庭の団欒の重要性」についてと与謝野晶子の「男性の育児参加の必要性」についてがある。この二つの文章は、これらの法律の成立する以前に書かれたものであるが、「いつ、誰が書いたものであるか」、書かれた時代や男女のいずれが書いたものであるか

るかは重要な情報であり、現代に通用する価値を未だに持ち続け、第1次情報として生き続けている文章である。 私たちが情報を読む力とは…。断片的な情報がランダムに並列された世界で、①自ら価値判断をすべき時代であること、②ネット情報・読書によって得た知識などを総動員してリテラシ



予告 第7回ホームカミングデー

期日 平成30年4月22日(日)
会場 大学会館

★募集・申し込み

参加希望の方は、各支部長・クラス委員を通じてご連絡ください。

平成29年度 かすみ祭 参加します

日時: 11/3(金・祝)・4(土) 10~16時

催し: ☆同窓会活動展示

☆チャリティーバザー

会場: 同窓会室「つくしみ会室」

つくしみ会室を同窓生の憩いの場としてご利用ください。

簡単な飲み物等を準備しています。(セルフサービス)

★バザーの品物提供にご協力をお願いします。

① 品物

不要になったアクセサリ・未使用の日用品及び雑貨等(大きすぎるもの、食品不可)

② 搬入期日

2017年10月23日(月)~27日(金) 10~16時

③ 搬入方法

事務局に持参するか、郵送・宅急便(送料送り主負担)で。

平成29年度 第4回 お茶の会

日時: 11/15(水) 12~13時

会場: 大学研究棟1F 多目的スペース

催し: 軽食を取りながら、大学生と同窓生が気軽に語り合います。皆様のご参加をお待ちします。

全てのお問い合わせ、お申込みなどは
TEL・FAX 092(692)3194 E-mail: tukusimikai@mb2.fwu.ac.jp

支部だより



若い会員さんが参加できる 総会を目指して

近畿支部長 山本 コズエ（大16理）

近畿支部は大阪・京都府、兵庫・滋賀・奈良・和歌山・三重・愛知県にわたって、約300人の会員が所属しています。毎年6月に総会を開催、8月に支部便りを発行しています。10年以上前に総会幹事（当番）を地区別から卒業年度制に変更しました。総会会場は滋賀（近江）・奈良・京都と古都・

名所旧跡・観光地に恵まれていますので変化に富んでいます。

今年度の幹事さんは、大27回生6名の皆さんで、六甲山を背に木々の緑がさわやかに揺れる兵庫県芦屋市のホテル竹園で開催されました。

今年は、筑紫海会本部から会長の矢野美美子さまが

出席してください、同窓会の現状と果たす役割についてお話しして下さいました。また大学からは森田健大学院教授が出席してください、福岡女子大学の最近の動向を報告してくださいました。

総会の議事が承認された後は、毎回お楽しみみのイベントが幹事さんによって準備されています。今年度は、

県立高校や大学に勤務されている現役バリバリの幹事さんたちの計らいで、県立西宮高等学校音楽科卒業生の、演奏家として活躍できる場を支援する会「ゆずりは」から来ていただき、声楽とピアノによるミニコンサートが開催されました。

懐かしい歌の数々をソプラノの若さあふれる声で披露してくださいました。最後の

は、うつとりと聞きほれていた私たちも一緒に「学生時代」「故郷」を歌いました。美味しい食事を頂きながら、和やかに旧交を温めることができました。



このように近畿支部では毎回工夫を凝らして開催していますが、会員さんの高齢化にともない、できるだけ交通の便の良い所も考えないといけませんし、次の

幹事さんの確保、参加者を増やす工夫、特に若い方の参加を増やすためにはどうしたらよいかなど悩みも多く抱えています。



ほづよい配慮と親しみの中で

筑豊支部長 井上 壽子（大15国）

今年度の筑豊支部総会は8月27日（日）直方市のフランス料理店梓屋において、直轄地区の当番で来賓2名会員17名の出席で開催された。筑紫海会江島副会長からは、来る百周年事業へ向けての協力依頼などのお話があり、本学の学部長中村教授から新キャンパスの完成間近で未来へ進展する福岡女子大学の様子を伺うことが出来た。

一連の議事（役員紹介、経過報告、会計報告）に続いて今後の課題として、二つのことが確認された。一

つは支部総会の時期の見直し、いま一つは三地区のうち一番少人数の地区から今後の総会当番などを受け持つことが困難との申し出が数年前からあり、今後検討が必要ということである。

総会後の催し音楽鑑賞（ヴァイオリン&ピアノ伴奏）は「情熱大陸」に始まりクラシック7曲、アンコールは「ハンガリー舞曲」。美しくも心躍る調べに時は瞬く間に流れた。その後の懇談会では隣り合わせた未知の若い世代が意気投合している光景が見られたり、



どの席も親しみに満ちた会話が弾んでいた。自己紹介の中で女専卒のかたが「女専卒業後、別の資格取得のため進学し、そこでも多くの友人を得た。自分は今までその資格を活かして生きてきた。しかし高齢となつて病んだとき駆けつけて親身に助けてくれたのは女専の友達だった。ライセン

スの取得は無論大事。けれど人として支え合う心を育んだ女専の教育をこの年齢にして思う」と語られたとき一同が静まり返った。やさしさよく行き届いた心に包まれた今年度総会も2時半閉会となった。



な支部活動であるために、また支部活動を停滞させないように、志ある人たちと手を携えて更に知恵を出し合っていきたいと思う。

サークル通信

書道部のころ

網田 政子（大23国）

先日、榊莫山の作品を見た。莫山の世界は私を豊かな気持ちに誘う。莫山の名前を知ったのは45年前。狭い部屋に著作集が置いてあった。法帖も沢山あり私たちは好みの書体の法帖を選んで臨書をした。筆を持つのは中学以来、その自由な空気に大学生であることを実感した。

部屋から毛氈ならぬ古毛布を黒門に運び、そこで書く。展覧会の前になると合宿して書き込んだ。合宿中、黒門から講義を受けに行くのが妙に楽しかった。夜のシンとした空気の中に墨の香り、白い紙に筆の線の重厚さ、軽妙さ、やわらかさ。

夏休み中の合宿も懐かしい。まず思い出す大宰府戒壇院。早朝に銅鑼で起こさ

れびつくり仰天。座禅を組んでも無心には程遠かったあの頃。そして英彦山青年の家。福岡県内の大学・短大の四泊五日の連盟合宿。体育館に所狭しと敷き詰められた毛氈、百名近い人数で書く様子は壮観であった。学生時代を振り返っているうちに若やいだ気分になって来た。書道が日本文化を楽しむ手立てになっていくことも改めて実感した。女子大書道部が私の原点だ。書道部の発展を祈る。



連盟書道展にて

『来たれ！ 新入部員』

国際教養学科4年 今村 若葉

私は書道部での文化祭と大学の記念行事にあわせた図書館での企画展示が思い出に残っています。文化祭では、個人の展示に加えて、遅くまで残って大きなシートにみんなで歌詞を書き上げて体育館の天井につるしたり、「君の名は。」というテーマで大きな紙を用意して、見に来てもらった方々に筆で名前を書いてもらうことで、書道を体験してもらったりしました。図書館での企画展示は、先輩方が引退して初めての展示であったことと、記念行事までの日程が短く不安でしたが、部員や先生、図書館の方々と話し合いを重ね、扇に文字を書いた作品を展示しました。実際に展示し終えたときは達成感を得ることができ、図書館の方々からお礼のお言葉をいただいたときはとてもうれしかったです。私は最初、ペン字を個人的に練習したくて入部しました。しかし、実際はペン字だけではなく、筆で書く作品や、石に文字を彫って作る篆刻という作品にも挑戦することができました。限られた時間の中での準備や練習、作品作りなど、大変なこともありますが、



閲覧室に彩りを添えました！

この4年間、部員と協力しながら、想像以上に多くの作品や人に関わることができてよかったです。これからも、女子大の皆さんがそれぞれの部やサークルで充実した活動ができればいいなと思っています。

福岡女子大学フィルハーモニー・オーケストラ

楽器の寄附ありがとうございました

第92号会報(5月1日発行)において楽器の寄附についてご協力をお願いしたところ、これまでに5件の問い合わせがございました。また、その内の1件につきましては、既に提供いただいているところがございます。みなさまの温かいご支援に心よりお礼申し上げます。

さらに、下記に記載しております楽器について、引き続きみなさまのご協力をお願いします。

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、ピッコロ、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ

第2期の募集期間は、12月22日(金)までとなります。ご協力いただける方は、お手数ですが下記までご一報ください。

福岡女子大学 100周年記念事業事務局

電話番号：092－661－2412

E-Mail：keiei4@fwu.ac.jp

受付時間：9時～17時(平日)

寄附に伴う経費は原則100周年記念事業で負担致します。

みなさまのお力添えを心よりお待ちしております。

九州北部豪雨による募金活動を実施しました

福岡女子大学では、7月10日(月)から8月18日(金)まで九州北部豪雨による募金活動を実施。また、福岡県及び関係団体等が行っている「平成29年九州北部豪雨被災地支援ボランティア」にも参加しました。

このたび、8月2日(水)にJR香椎駅前広場において校外募金活動を実施しました。

募金は、福岡県を通じて被災者の皆さまへお届けする予定です。

募金活動に協力してくださった皆さまにお礼申し上げます。

筑紫海会でも8月5日理事会において募金をして大学へ委託しました。

▼学内募金活動の様子



▲ Nan の木



▼生協売店



平成29年度 福岡女子大学公開講座のご案内

福岡女子大学では、公開講座の受講生を募集しています。お気軽にお申し込みください。内容はホームページをご覧ください。資料をご請求下さい。



10/6
10/13, 10/20



2/17

【お申込み・お問い合わせ】福岡女子大学地域連携センター

〒813-8529 福岡県福岡市東区香住ヶ丘1-1-1

TEL：092-661-2728(直通)／092-661-2411(代表) FAX：092-692-3220

E-mail：kyomenkow@fwu.ac.jp URL：http://www.fwu.ac.jp/collaboration/

留学生のお正月体験(年末年始の1, 2泊)

ホストファミリー募集!

女子大の留学生を迎えていただける
ボランティアのご家庭を募集します。

申込み方法 10月末日までに①～⑤を記入の上、
下記の申込先へお申し込みください。

- ① 〒 住所
- ② 氏名(卒業回・学部)
- ③ TEL 番号
- ④ 家族構成(含ペット)
- ⑤ E-mail アドレス(あれば)

TEL・FAX 092(692)3194 E-mail:tukusimikai@mb2.fwu.ac.jp

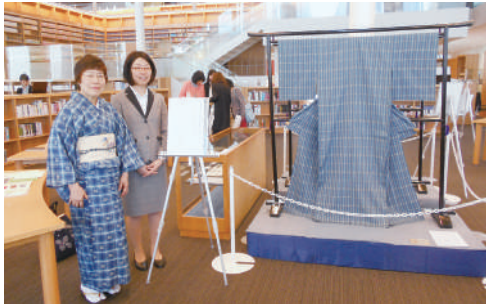
福岡女子大学美術館

高木秋子(専12家)展

福岡女専の教育が育んだ高木秋子の染織の世界

染織家として知られる福岡女専卒業生高木秋子氏の作品展が2017年4月17日(月)～28日(金)福岡女子大学美術館で開催された。

初日、開会式では梶山千里学長挨拶のあと高木保子氏(高木秋子氏長男の妻)と魚里洋一氏(福岡県立美術館学芸課長)の対談と解説があり、日本・世界各地の染織の研究や新しい技術に取り組む氏の姿勢が語られ、大勢の観客が熱心に聞き入り、盛会であった。



高木保子さん母娘

生い立ち女専時代から戦争を経て緋・紬を作るまで

高木秋子氏は1917年北京生まれ、日本に戻って、1929年12歳、福岡高等女学校(現・県立福岡中央高校)に進学。同時に山喜多二郎

太や中村研一に洋画を学び、絵描きを志望。1937年本学を卒業。戦後、この戦争に生き残れたら、素材そのものを使って物を創り出す仕事をしようと織維を選び織を始める。36歳で久留米の森山虎雄(初代)と出会ひ染織の世界へ。61歳木綿地風通織を始め、69歳第34回日本伝統工芸展で會長賞を受賞。72歳中国を訪れ経浮織の原型に出会い

作品の幅を広げる。84歳作品集「木綿麗容」を出版。85歳福岡県立美術館にて作品展。89歳第54回日本伝統工芸展で會長賞を受賞。2008年90歳で他界。

風通織に至る道筋

美術館1階では学生時代をはじめとするスケッチやノート、後年中国を訪れた際のミャオ族の帯や紗織の設計図など数多くの資料とともに数々の受賞作併せて20作品が展示された。

正倉院裂の中にも例が見られる二重織の一つで繊細な技法を用いる風通織。高木秋子氏は風通織に超長綿35mm以上の長さのスーピマ

綿を用い、かつて試みた絹はスーピマ綿のようなしなやかさがなく「ちっとも面白くない」のでそれっきり使わなくなったという。

工夫、努力を重ね、表裏に異なる色の糸を用いて平織りの二重組織とし、文様の部分で表裏の糸が反対になるように織り、変化に富んだ幾何学文様など高木秋子氏の高い技術が見所。

その中でも、風通織晩年の代表作3点が中2階に展示された。

会期中23日ホームカミングデーがあり、在学生だけでなく、卒業生も織細で美しい染織作品を鑑賞し、先輩の偉業に感嘆の声を上げていた。

古稀記念学年同窓会

戸田 裕子(大17回)

大学17回生は今年70歳。

記念に学年全体で同窓会を開きました。大学の開学記念式典前日4月22日、西鉄グランドホテルに70名が集合。卒業後初めて集まった英文科も22名の参加です。家政科実行委員の一人がパソコン教室に通って、各科の手持ちの写真や卒業アルバムから「思い出のアルバム」を作成。会の最初に上映して気分は一気に学生時代へ。今も活動を続けている元マントラ部員の演奏やオカリナ演奏・フラダンス披露など3時間はあつと

当日近況報告をしている時間はないだろうと思いい、事前に参加申し込みはがきに近況を書いてもらい、参加者名簿に記入しておく工夫をしました。欠席の方の近況ははがきを回して級友に思いを馳せてもらいました。

まあまあ元気に生活できていて今日ここに参加できたことに感謝する気持ち、一年前に起きた熊本地震への寄付に込め、女子大の後輩の気づきから生まれた納豆石鹸「つるるとさら



り(150個)の販売利益と現金寄付合計7万円余を「被災地障害者センターくまもと」に送りました。欠席理由に夫君の介護という方もちらほらあり、そういう歳になったのだなあと思いつつ、二次会も50名参加で楽しい一日を過ごしました。

私の絵画人生

〜母校への絵画寄贈に寄せて〜



原田 康子 さん（大15国）

女子大の充実ぶりです。百周年に向けてますます発展していく母校を心強く思っています。

子供の頃から絵を描くことは大好きでしたので、1975年和歌山のカルチャースクールで油絵の手ほどきを受け、10年間徹底して写真を学びました。その後、千葉県船橋市に居住し1991年、師事している先生から「君、日展に出品したら!」と言われ、半信半疑で浜辺にブロッコを積み上げ漁網を配して遠くに海を見る構図「浜の風景」が、思いもかけず初出品初入選となりました。これはひとえに和歌

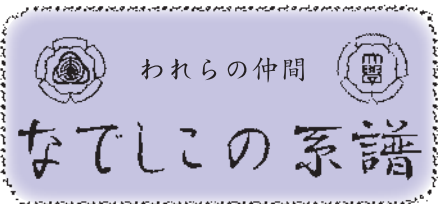
2016年4月17日開学90周年の折、日展作品「浜の風景」100号（162cm×130cm）を寄贈いたしました。一点のつもりが4〜5点とご指示があり、戸惑いながら4点を選びました。新築の研究棟エリアの広い壁面に4点並ぶと、未熟ながら壮観だと感激しました。この絵が若い後輩の目に触れることは私にとって何よりの喜びです。筑紫海会の矢野会長様はじめ、お骨折りいただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

絵筆をとりまして40年余り、日展入選20回の節目にこれまでの画業をまとめることを思い立ち、100号から油彩の小品、旅のスケッチまで計89点を「原田康子画集」として寄贈の折に合わせ刊行し、本学にも納めさせていただきます。これまで住まいが遠隔地ということもあり、女子大に足を運ぶことがなかったのですが、今回の式典で国文15回生の仲間（いちご会）とも久しぶりに旧交を温めることができました。また、驚いたのは諸施設を含めた

を構成する素材を求めて専ら房総の海を訪ね、漁師さんとの素朴な触れ合いの中から、漁網、ランプ、船板、船窓などを分けていただき

ました。創作にはたいへんな苦しみがありますが、大きな生きがいを得ることもできます。その繰り返し的人生でした。そんな私をい

つも励ましてくれたのは関東地区在住の「いちご会」の仲間です。国立新美術館での日展鑑賞後の楽しいランチとおしゃべりのミニ同窓会が、私の安らぎであり元気の源でした。



国文15回生の皆様と「浜の風景」の前で（左から4番目）

山の独立美術協会、千葉の光風会の両先生の厳しいご指導があったからこそと感じています。

振り返ってみますと、ここからが私の本腰を入れた絵画の道の始まりでした。幼い頃遊んだ行橋・長井浜への憧憬からでしょうか、

日展、光風会展のテーマは一貫して「海辺のロマン」を追いかけてきました。絵



画集より「パリ」水彩スケッチ

実は私は呼吸器に持病があり、主治医に油絵を描くことは止められています。残念ですが日展への出品は昨2016年で終わりとなりました。今は水彩でのスケッチを楽しんでいます。いつかまた、展示されている4点の寄贈作品を観たいと考えております。末筆になりましたが、福岡女子大学の一層のご隆盛を心よりお祈り申し上げます。

点と線

柳沼 みちる さん（大32英）



人生は想定外の連続、且つ選択の連続だ。その結果「今の私が想定外」で笑ってしまふ。

女子大卒業3週間後、私はイギリスでの生活を開始した。語学留学で1年滞在の予定が、気付けば6年弱。その間、英国空港管理局と関空の技術提携契約書翻訳、某テレビ局のイギリスロケ通訳等を経て、ヴァージン・アトランティック航空の本社オフィス初日本人正社員として予約課電話業務を担当。当時社長のリチャード・ブランソン氏か

発祥の地横浜に移り、念願のジャズピアノを習った。元東京芸大受験生の私。24年も葛藤して、漸くクラシックが弾けなくなる恐怖から脱出した。

11年前、猫連れキャンプの延長でイギリスの至る所で見たキャンピングトレーラーに辿りついた。私には生涯最高の購入物だ。日程・目的地急変更、切り離して観光・温泉へと自由度満点。災害時には即仮設住宅だ。既に46都道府県、宗谷岬〜佐多岬まで牽引走破した。運転大好き！牽引免許も取った。

次第に緑の多い広い田舎で暮らしたくなり、4年前宮崎宮の氏神様に導かれ？全国八幡総本宮宇佐神宮がある大分県宇佐市の山間へ移住した。草と木と土の香りが脳を活性化。その香りの庭で蜜や満天の星空を眺める。薪ストーブは至福の暖かさだ。その下段のオーブンで庭で収穫した芋を焼く。車の走行距離は増えたが、燃費がほぼ倍以上伸びている。

に感謝している。

この大役を引き受けた理由の一つは企画、運営、統括及び社長業の修行になると信じたから。田舎は仕事が無い？なら作れば？雇用だって創れるかも！実は戦略的田舎暮らしなのだ。まずは貿易関連の翻訳・通訳業を開始した。ここから先の点と点がどんな線を描くのか。過去が繋げる未来にワクワクしている。さああなたの点と点はどうな線を描く？



どこでも一緒♡大枚叩いたキャンピングトレーラー

人生回り道はなし

〜つながりを大切に〜

山下 圭子 さん（大42食）



昨年春、学内の図書館に「村上祥子料理研究資料文庫」が開設されました。私は在学中、村上先生の料理スタジオで、まさにこの資料整理のアルバイトをし、卒業して2年後、村上先生の元で仕事をする事になりました。当時先生がこの誌面に「50歳 今輝けるとき」というタイトルで寄稿されたことを今でも鮮明に覚えています。それほど先生との出会いは、センチシヨナルでした。

人生回り道はなく、その道はずっとつながっているように思います。村上先生とのご縁で、2013年に「野崎さんのおいしにかさ増しダイエットレシピ」2016年に「アスリートシェフのチキンブレストレシピ」を柴田書店から共著出版しました。以前の私でしたら、チャレンジする勇氣はなかったでしょう。今では、頼れる仲間がたくさんいます。福岡県栄養士会で役員活動をして10年になります。きっかけは、初めて参加したイベントで、先輩方が楽しんで活動されていたことでした。参加すると、いろんな業種の

の為に決まっとる」99歳の男性です。100歳の女性に尋ねた時も、答えは同じでした。一方、あるご入居者は深いため息の後、こうおっしゃいます。「もう夢も希望もないから、早くお迎えが来ないかしら」そのお気持もよく分かります。この二つの言葉を並べると、人は人の為に生きているからこそ、喜びを感じ、輝いていられるのかなあと。お迎えを待つご入居者も、きっとご家族の為に生きて来られたのだと思うのです。

入学当時、薬学の道をめざしていた私は、前を向けずに周りを困らせました。が、「医食同源」という言葉に出会い、「食」の道に馴染んでいきました。また、最初に選んだ仕事は、栄養



「やせる」がキーワードの気になる書籍！